



Wilhelm・Conrad・Röntgen
ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン
1895年 X線発見

放射線だより

2025年9月
No. (毎月発行)
担当：横田

from Radiation House

血管造影検査（Angiography）について

血管造影検査？

・血管造影検査は、主に放射線科医が中心となり、診療放射線技師および看護師と協力して行います。検査は足の付け根や腕の動脈から細い管（カテーテル）を用いて目的の血管まで挿入し、造影剤という薬剤を血管に注入しながらX線を用いて連続撮影をする検査です。

・撮影された画像から悪性腫瘍に栄養を送っている血管や出血部分を特定し、腫瘍の栄養血管から抗がん剤を注入したり、血管を塞栓したりして治療することが可能となります。これらを血管内治療（IVR）ともいいます。

血管造影検査のFAQ

Q：血管内治療（IVR）のメリットは？

A:体に大きな傷をつけずに低侵襲な治療が行えるため、数日間で退院が可能となります。一方で造影剤の使用によるリスクや放射線被ばくといったデメリットもあります。

Q：かかる時間はどのくらい？痛みはあるの？

A:検査内容によって大きく異なります。準備から終了まで1時間程度の場合から4時間程度かかることもあります。担当医からの説明の際にご確認ください。通常局所麻酔を行い、麻酔を行った部分に針を穿刺していきます。麻酔が効いてくると痛みはほとんどありませんが、軽い痛みを感じることもあります。

血管造影装置について



【血管撮影装置：INFX-8000V/JK（Canon社製）】

CアームというX線管球の備わっている部分の様々な部分を軸として回転させることで柔軟な動作やポジショニングが可能となり、患者さまをできるだけ動かさずに観察したい角度に合わせられることで、安全に検査を行えます。Cアームを様々な角度に動かし撮影することで、血管の形状の見え方が違ったり血管の重なりを防いだりすることが可能です。

当院で行われている消化器系検査について

当院で行っている消化器系検査のうち、今回はERCP検査について紹介します。

消化器系とは...

消化器系の主な構成は、大きく「消化管」と「付属器官」に分けられます。

①消化管(食物の通り道となる一本の管のこと)

口腔(口)→咽頭・食道→胃→小腸→大腸→肛門

②付属器官(消化を助ける臓器のこと)

唾液腺(耳下腺・顎下腺・舌下腺)、肝臓、胆嚢、膵臓



ERCP検査とは...

ERCP検査とは内視鏡的逆行性胆管膵管造影(Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography)の略です。

目的：胆管や膵管に生じた(胆石、胆管・膵管狭窄、悪性腫瘍など)を調べたり、治療を行うための検査です。

方法：胃カメラのような内視鏡を口から挿入し、十二指腸の乳頭部まで到達させ、乳頭から細い管を胆管や膵管に入れ、造影剤を注入してX線撮影します。必要に応じて、結石を取り出したり、狭くなった管を広げてステント(管)を留置する治療を同時に行うこともあります。

放射線技師の役割...

検査前:透視装置の準備(点検、設定)、患者登録、被ばく線量の管理

検査中:透視・撮影・計測操作、リアルタイム画像の提供、線量管理、緊急対応

検査後:画像データの整理・保存、透視時間・線量の記録、装置の後片付け・清掃等



Astorex i9
(キャノンメディカルシステム社製)



VersiFlexVISTA
(富士フィルムヘルスケア)



CUREVISTA Open
(富士フィルムヘルスケア)

(文責 宮崎)